

St. Luke's International University Repository

2005年度聖路加看護学会理事会報告

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10285/770

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



学 会 記 事

2005年度 聖路加看護学会 理事会報告

第1回

- 日 時：2004年11月12日（金）18:00～20:00
- 場 所：聖路加看護大学5階505共同研究室
- 出席者：理事7名、監事1名

〈審議事項〉

1. 2004年度聖路加看護学会第9回総会議事録の承認
2. 2004年度聖路加看護学会第1回評議員会議事録の承認
3. 2004年度第6回理事会議事録案の承認
4. 新入会員の承認：2名の入会が承認された。
5. 2005年度学会役員および選挙管理委員の選出のための選挙規定内規について（継続）
6. 将来構想委員会について、委員候補者を選出した。
7. 第10回学術大会企画委員理事2名を選出した。
8. 日本学術会議会員候補者に関する情報提供について

〈報告事項〉

1. 学会誌編集委員会より第9巻1号の投稿状況の報告があった。
2. ニュースレター委員会より、本年度の活動計画について報告があった。
3. 学術交流委員会より、本年度の委員会活動計画について報告があった。
4. 庶務より、本年度の庶務計画について報告があった。
5. 会計より、本年度の会費納入のための活動が開始された旨、報告があった。
6. 理事長より、日本看護協会が日本看護系学会協議会加盟学会宛に参加要請のあった「看護技術に関する診療報酬についての意見聴取のための会合」に本学会員香春氏が出席した旨の報告があった。

第2回（書面理事会）

- 日 時：2004年12月20日付
- 回答者：理事10名

〈審議事項〉

1. 2005年度聖路加看護学会第1回理事会議事録の承認
2. 新入会員の承認：1名の入会が承認された。

第3回

- 日 時：2005年1月14日（金）18:00～19:30
- 場 所：聖路加看護大学6階602教室
- 出席者：理事8名、監事1名

〈審議事項〉

1. 2005年度第2回理事会（書面）議事録の承認
2. 新入会員の承認：1名の入会が承認された。
3. 退会会員の承認について
退会を申し出た会員2名について、会則に基づき今年度の会計納入を確認したうえで退会を認めることが

承認された。この2名については、学会誌配布および今年度の選挙権は認めるが、被選挙権は与えないことが確認された。また、今後、退会手続きとして会費納入を何年度まで求めるかについて、選挙権・被選挙権、学会誌・ニュースレター等の学会からの連絡との関係も考慮して申し合わせ事項として明記することになった。退会承認を年度末に行う案が出された。

4. 聖路加看護学会評議員の選出のための選挙管理委員について

「聖路加看護学会役員および選挙管理委員の選出に関する規定」第1条により、本会会員の中から選挙管理委員の候補者を選出した。

5. 聖路加看護学会将来構想検討委員会について

菱沼理事長より、第1回理事会で審議された将来構想検討委員5名（菱沼典子氏、田代順子氏、鶴田恵子氏、中村めぐみ氏、野地有子氏）を決定した旨の報告があり、承認された。

6. 日本学術会議会員候補者に関する情報提供について
日本学術会議会員候補者として、本学会から5名の情報提供を行ったが、日本学術会議より、「地方在住者」が1名不足で受理できないとの連絡があり、この訂正を行うことについて審議を行った。

7. 社団法人日本看護協会からの連絡事項について

日本看護協会から看護系学会協議会を経由して本会宛に参加意向の問い合わせがあった「学術的根拠に基づいた看護の診療報酬体系の在り方を検討するための組織の設立について」協議した結果、参加の必要性に同意が得られ、佐藤エキ子理事の氏名を届け出ることになった。なお、返信票の通信欄には、「この検討会の重要性は認識しているが、具体的な検討の在り方から検討して頂きたい」と明記することが申し合わされた。

〈報告事項〉

1. 学会誌編集委員会より、第9巻1号の編集経過報告があった。
2. ニュースレター委員会より、第17号を1月末に800部発刊する予定であることの報告があった。
3. 学術交流委員会より、2005年5月28日の交流集会は予定に変更がない旨が報告された。
4. 庶務より、現在の会員数およびホームページ更新の報告があった。
5. 会計より、選挙に向けて会費納入を早めに済ませるようにお願いしている旨報告があった。
6. 第9回学術大会終了報告

菱沼理事長より、第9回学術大会報告、および会計報告がなされた。

第4回（書面理事会）

- 日 時：2005年2月18日付
- 回答者：理事10名

〈審議事項〉

1. 2005年度聖路加看護学会第3回理事会議事録の承認
2. 新入会員の承認：9名の入会が承認された。
3. 2005年度選挙管理委員として掛本知里氏、久代和加子氏、内田千佳子氏の3名が承認された。

第5回（書面理事会）

- 日 時：2005年4月28日付
- 回答者：理事10名

〈審議事項〉

1. 独立行政法人大学評価・学位授与機構から依頼のあった、機関別認証評価に係る専門委員候補者の推薦及び就任依頼について
2. 新入会員の承認：7名の入会が承認された。

第6回

- 日 時：2005年5月18日（金）18:00～20:00
- 場 所：聖路加看護大学5階505共同研究室
- 出席者：理事6名、監事1名

〈審議事項〉

1. 2005年度第4回および第5回理事会（書面）議事録の承認
2. 新入会員の承認：10名の入会が承認された。
3. 選挙名簿の承認について
「聖路加看護学会会則」および「聖路加看護大学役員および選挙管理委員の選出に関する規定」に照らし合わせ、提出された選挙人名簿の確認を行った結果、承認されなかった。再度の作成にあたって次の2点を確認した。

① 会則第11条ならびに第12条より、2000年度（1999年10月1日）より6年間続けて評議員をしている会員は被選挙権がない。

② 会費については、選出規定の第5条より、2003年度（2002年10月1日～2003年9月30日）から会員であり、2005年度までの会費を滞りなく2005年4月30日までに納めたものは、評議員の被選挙権を有する。

4. 学会会員資格喪失に関する申し合わせ事項について
学会会員資格喪失に関して不明確であった点についての申し合わせ事項（案）が検討され、次の条項を下線部のように修正することで、申し合わせ事項が承認された。
- 1) 会則第二章第7条(2)会費の滞納(3年間)について
会計は、会員の会費納入状況を常に把握し、ニュースレター、督促状等を通じて会費納入について会員に通知するものとする。それでも2年以上連続して滞納している者があった場合は、3年目の途中に理事会に報告し、該当者に資格喪失の予告をすることとする。
- 2) 会則第二章第7条(3)死亡又は、失踪宣言について

①把握方法

会員が死亡又は、失踪宣言した事実を事務局が把握する。

さらに、次の事項が確認された；

資格喪失した者の情報は、現行の名簿からは除外するが、再入会時の照会のために、資格喪失者名簿として保管する。このリストは、再入会時の照会の目的以外には用いない。

5. 日本看護系学会協議会平成17年度総会に、2名の理事が出席することになった。
6. ILL（図書館間貸借）に関する権利委託契約について

学術著作権協会からのILLに関する権利委託契約の依頼について、聖路加看護大学図書館に問い合わせ、次のような見解をいただいた。当学会としては、権利委託に同意をすることが決まった。

- 1) 今回、学術著作権協会が求めているのは、著作権者の権利のうち、「公衆送信権（第23条）」の委託を大学図書館間に限って認めるということである。
- 2) 法律上、「公衆送信権」の制限規定はないので、図書館は、利用者の求めに応じ著作権者に許諾を得ることなく、複写をし、複写物を渡すことはできるが、通信によって送ることはできない。
- 3) 委託をすることで、学術情報の流通が盛んになり、研究成果が広められ、引用の機会が増えることが予測される。

7. 2005年4月1日より行政機関・独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律に基づく当学会の個人情報の取り扱いについて

個人情報保護法施行に基づき、当学会の6月の通信時に挿入する会員登録変更届けに当学会の対応について記載することが決定された。

〈報告事項〉

1. 学会誌編集委員会より、掲載論文について報告があった。また、査読ガイドラインについて検討中であることの報告があった。
2. 学術交流委員会より、「発展していく専門看護師の役割」と題したパネルディスカッションの開催の案内があった。
3. 第10回学術大会企画委員会より、演題の申込み期限について、5月31日まで延期するとの報告があり、役員に応募への働きかけをお願いしたいと依頼があった。
4. 聖路加看護学会将来構想検討委員会より、中間報告があった。実践に結びつく研究、CNSを柱にすえた事例検討、さらに国際性を取り入れるという方向で話し合いをすすめる、答申を出していく予定であるとの報告があり、その方向性について確認がなされた。
5. 選挙管理委員会より、選挙人・被選挙人名簿が作成されたとの報告があった旨が伝えられた。
6. 社団法人日本看護協会への学会協力について、『看護系学会等社会保険連合（看保連）』（仮称）設立会議について佐藤理事から報告があった。報告内容は以下

の通りである；

看保連は、看護系学会 26、看護部長会議 11、その他 6 団体の全 43 の組織から委員が構成され、事務局は日本看護協会に置かれる。当学会には、拠出金の負担が発生する見込みである。また、看保連の主張基盤となるエビデンスをつくるための「看護政策研究事業」（日本看護協会委託研究）の募集について説明があった。

第 7 回

- 日 時：2005 年 6 月 3 日（金）18:00～20:00
- 場 所：聖路加看護大学 5 階 505 共同研究室
- 出席者：理事 7 名、監事 1 名

〈審議事項〉

1. 2005 年度聖路加看護学会第 6 回理事会議事録の承認
2. 新入会員の承認：9 名の入会が承認された。

なお、入会申込用紙に「専門領域」を記載する欄をもうけることが申し合わされた。

3. 聖路加看護学会役員選挙 選挙人・被選挙人の確認について

亀井理事より、選挙規定に基づく選挙人・被選挙人選出の経過説明があり、資料 2 のとおりの地区別選挙人・被選挙人の氏名等について説明され、原案通り承認された。

なお、会費納入のない評議員も多く、現時点で会費未払い者が会員の半数をこえるため、これまでも増して会員に会費納入を周知する必要がある。また、選挙権をもつ会員を多くするためには、会費納入の期限を前年度末などに変更するという意見が出された。次回の選挙ではこれらの事項を改正した新選挙規定を適用できるよう、今期理事会が今後検討することが申し合わされた。

4. 交通費支払い基準理事会申し合わせ案の検討について

中山理事より、交通費支払いについての説明があった。審議の結果、支払い等について「領収印」を削除し「サインを徴する」等に修正することとし、それ以外は原案どおり承認された。

なお、本申し合わせは委員会にも適用すること、および本日付けで発効することが申し合わされた。

5. 平成 17 年度日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について

松谷理事から、学術振興会からの推薦依頼があったことが説明された。

審議の結果、過去 2 年発刊分の学会誌投稿論文から優れた論文著者を推薦することが申し合わされた。候補者名は、学会誌編集委員長と庶務で案を作成し、理事会に諮ることとなった。

〈報告事項〉

1. 学会誌編集委員会より、学会誌第 9 巻 1 号の編集、校正の経過報告がなされた。
2. 学術交流委員会より、去る 5 月 28 日「発展していく看護の役割」と題した学術交流会が開催され、熱心

に議論が交わされたと報告があった。

3. 庶務より、看保連から拠出金の調査があり回答した旨報告があった。また、特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会より、学会刊行物に関する利用許諾の申し入れがあったため、学会誌編集委員長の上泉理事の許諾の意向を確認後、手続きを行ったとの報告があった。
4. 第 10 回学術大会企画委員より、学術大会の準備状況の経過報告があった。演題数は 32 題の登録があった。今回は新たに「交流広場」という企画を計画している。聖路加国際病院、聖路加看護大学看護実践開発研究センター、COE 事業、同窓会、WHO コラボレーティングセンター、などの活動紹介を一つの部屋を区切って行うことを検討しているとの報告があった。
5. 選挙管理委員会より、選挙管理委員会による選挙の準備に関する経過報告があった。

第 8 回（書面理事会）

- 日 時：2005 年 7 月 29 日付
- 回答者：理事 10 名

〈審議事項〉

1. 新入会員の承認：16 名の入会が承認された。

第 9 回

- 日 時：2005 年 9 月 2 日（金）18:00～20:00
- 場 所：聖路加看護大学 5 階 505 共同研究室
- 出席者：理事 6 名、監事 1 名、選挙管理委員長

〈審議事項〉

1. 2005 年度選挙結果報告に基づき、評議員、理事および監事の選出の結果が承認された。
2. 2005 年度決算について、会計の締め日と監査の日程が一致していないため、9 月 20 日に再度監査を行ったのち、監査報告を行うこととなった。
3. 2006 年度事業案の承認について、2006 年度事業案は原案通り承認された。
4. 2006 年度予算案について、ここ数年は繰越金を使って運営されていたが、来年度で繰越金がほぼなくなるため、各委員会の予算規模を縮小するか、会費を値上げする必要があることが検討された。今期から、全国規模での会員構成になり、委員会委員も全国から集まるようになり、各委員会の経費が増大していることが、経費増の一因となっていることが挙げられた。各委員会には再度予算案を見直してもらうこととするが、審議の結果、年会費を 3,000 円値上げして 8,000 円とすることが合意された。総会で会員に説明し、承認を得ることとなった。
5. 新入会員の承認について、6 名の入会が承認された。
6. 退会会員の承認について、申し出のあった 6 名の退会が承認された。
7. 学会役員選挙申し合わせ事項について、今回の選挙運営に関して整理し、「申し送り事項」として次期理事会に申し送ることが合意された。
8. 第 12 回学術大会会長推薦について太田理事を推薦することが承認された。

9. 総会プログラムの確認について会費値上げについての審議を加えることが合意された。
10. 2006 年度学術大会日程は、木下次期大会長より、2006 年 9 月 23 日（土）で開催したいとの意向があることが説明され、承認された。
11. 編集委員会の決算報告が赤字になったが、投稿論文数が増えたため、ページが増し編集作業を業者委託する必要性が生じたためであるとの説明があり、学会誌は重要であるため理事会としてはこの決算報告を承認することが合意された。

〈報告事項〉

1. 学会誌編集委員会より、6 月 20 日に学会誌 9 巻 1 号が発刊された旨の報告がなされた。掲載論文数が増えたため、50 ページの増となり、期日に間に合うように編集作業を委託する必要性が生じた。その結果予算を 35,741 円オーバーしたとの報告がなされた。
2. ニュースレター委員会に代わって理事長より、年度報告がなされた。
3. 学術交流委員会より、今年度の活動報告があった。
4. 庶務より、今年度活動報告があった。
5. 会計より、収支報告の経過報告がなされた。8 月 26 日に会計監査を受けたが、年度内の支出予定があるため、再度 9 月末に会計監査を受ける予定であるとの説明がなされた。
6. 会計監査より、監査の経過報告がなされた。編集委員会の支出オーバーについては、理事会に諮る必要があるとの指摘があった。なお、9 月末に最終監査を行う旨の説明がなされた。
7. 第 10 回学術大会企画委員会より、大会の準備状況について説明があった。
8. 聖路加看護学会将来構想検討委員会より、報告があった。学会名称は現在のままとし、今後は海外の研究者の学会参加を積極的に推進していくことが説明された。「市民主導型」について意見交換があった。
9. 選挙管理委員会より、資料に基づき評議員・理事選挙の経過について報告があった。当選者は、評議員 31 名、理事 7 名、監事 2 名であった。なお、住所変更の手続をしていない会員があり、選出地区と所属の地区が一致していない方がいるが、選挙時登録住所で当選地区を決定しているとの説明がなされた。

第 10 回

- 日 時：2005 年 9 月 22 日（木）16:00～17:15
- 場 所：聖路加看護大学 6 階講義室 B
- 出席者：理事 8 名、監事 1 名、第 10 回学術大会会長代理

〈審議事項〉

1. 2005 年度決算について

- 中山理事より、決算報告がなされた。
2. 2006 年度予算案について
中山理事より、資料に基づき予算案の説明がなされた。
年会費を 8,000 円、学会誌を一冊 2,500 円とすることが説明され、総会で承認を得ることとなった。
3. 新入会員の承認について
1 名の入会が承認された。
4. 退会会員、資格喪失者の承認について
2 名の退会が承認された。
死亡により 2 名の会員資格喪失が承認された。
5. 総会プログラムの確認について
資料に基づき総会の進行について説明と確認がなされた。総会議長は小澤大会長に代わり、企画委員の鶴田恵子氏が務めることが説明された。

〈報告事項〉

1. 学会誌編集委員会
前回報告済みとの説明がなされた。
2. ニュースレター委員会
前回報告済みとの説明がなされた。
3. 学術交流委員会
前回報告済みとの説明がなされた。
4. 将来構想委員会
菱沼委員長より、ホームページの委員会の経過報告をアップデートしたとの説明がなされた。
5. 庶 務
松谷理事より、今年度新入会員 62 名、退会者 12 名、総数 623 名との報告がなされた。
6. 会 計
桃井理事より、収支の経過報告がなされ、会計監査を受けたとの報告がなされた。
7. 会計監査
氏家監事より、監査の経過報告がなされた。
8. 第 10 回学術大会企画委員会
菱沼理事長より、大会の準備状況について説明があった。
小澤大会長が体調を崩されているため本日は欠席であるが、会長講演は行うとの意向が説明された。総会議長は大会長が行う事となっているため、正式な規約はないが、小澤大会長に相談の上、企画委員の中から鶴田氏を選出したとの報告があった。
9. 次期理事長互選結果について
松谷理事より田代理事が次期理事長に選出されたとの報告がなされた。
10. 看護系学会等社会保険連合出席報告
佐藤理事より、資料に基づき上記会議についての出席報告がなされた。なお、本学会からの拠出金は 5 万円であるとの説明がなされた。